

(2020年1月)

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

<要点>

【政治】

- 内政：国民議会の機能停止（13日～）
- 内政：憲法改正のための国民投票の2020年中の実施を大統領が宣言（21日）
- 内政：一部石油製品の値上げを暫定首相が示唆（29日）
- 内政：バチカン大使公邸で行われた政治対話の失敗（31日）

- 外交：エドモン大臣とポンペオ米 국무長官との会談（22日）
- 外交：ハイチのリマグループメンバー入り（29日）

1 政治

(1) 内政：新政府発足及び憲法改正に向けた動向

- 13日 モイーズ大統領は、第50回国会の終了と全下院議員（117名）及び2／3の上院議員（19名）が議員資格失効となったことを宣言した。
- 21日 モイーズ大統領は、憲法改正のための国民投票を2020年中に実施する意欲を表明した。
- 29日 ラパン暫定首相は、政府によるガソリンの補助金は維持する一方で、ディーゼルと灯油への補助金をこれ以上維持できないと述べ、値上げを示唆した。
- 31日 29日から31日、バチカン大使公邸にて、政治的危機を打開するための交渉が、政治家、市民社会、大統領府の代表の間で行われたが、合意に至らず終了した。マリオット合意に参加した5政党のうち3政党と与党系のキナム合意派、いずれの合意にも参加していないいくつかの野党が参加した。
- 同日 当地コア・グループは、バチカン大使公邸での交渉が合意に至らなかったことについて遺憾の意を表明し、すべての政治家と市民社会に対して国が直面している課題に向き合う責任を負うように呼びかけた。

(2) 外交：エドモン大臣とポンペオ米 국무長官との会談

- 22日 エドモン外務・宗務大臣は、ジャマイカの首都キングストンにて行われたCARICOM外相会合に出席した。滞在中、エドモン外務・宗務大臣はポンペオ米 국무長官と会談し、ハイチの政治状況やモイーズ政権の選挙の実施と憲法改正に向けた取組について説明した。

(3) 外交：ハイチのリマグループメンバー入り

- 29日 エドモン外務・宗務大臣は、ハイチがリマグループのメンバーとして正式に加盟したことを発表した。ベネズエラにおける平和的・民主的な政権の移行に向けて、他の加盟国とともに協力するとした。